		等専門学校	🗧 📗 開講年度 🖯 令和06年度 (2	2024年度)	授業科目	技術者総合ゼミⅡ		
科日基例	礎情報			,	<u> </u>			
科目番号		1630		科目区分 専門 / 必修		7		
授業形態	ŧ	演習		単位の種別と単位数				
開設学科		複合工学		対象学年	専2			
用設期 開設期		前期		週時間数	前期:2			
教科書/教	 数材	1357 43		/C 3103/	1337434			
担当教員		富田 裕康	夏,西口 廣志,柳生 義人,川崎 仁晴,佐当	百合野 田中 泰彦 島屋	 \\			
到達目		//EH 11/2						
1. 大勢 2. 与え 3. 講演 4. 討論	の前で自分の られた課題 を静聴してI に参加して	内容を把握吸 意見を述べる	することができる。(C-2)(JABEE f 果的な資料を作成して説明できる。(収し質問ができる。(C-2)(JABEE f ことができる。(C-2)(JABEE f, d, きる。(E-1)(JABEE g)	, d, i) C-2) (JABEE f, d, i , d, i) i))			
ルーブ	リック							
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベル	ベルの目安未到達レベルの目安			
			大勢の前で自分の意見を発表する ことができる。	大勢の前で自分の意	見を発表する	大勢の前で自分の意見を発表する ことができない。		
到達目標 2			与えられた課題に対して,効果的 な資料を作成して説明できる。	与えられた課題に対 度効果的な資料を作 きる。	して,ある程	与えられた課題に対して, 効果的 な資料を作成して説明できない。		
到達目標 3			講演を静聴して内容を把握吸収し 質問ができる。	講演を静聴して内容 質問がある程度でき		講演を静聴して内容を把握吸収し 質問ができない。		
到達目標 4			討論に参加して意見を述べること ができる。	討論に参加して意見 がある程度できる。	を述べること	討論に参加して意見を述べること ができない。		
到達目標 5			意見や感想を要領よく記述できる。	意見や感想をある程 述できる。	度要領よく記	意見や感想を要領よく記述できない。		
学科の	到達目標耳	項目との関	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
学習・教 JABEE d	有到達度目 I JABEE f J <i>A</i>		 ・教育到達度目標 E-1					
教育方法	法等	1-						
			をやディベート、また学内外からの講師による講演会や関連するビデオ、書籍等を題材に、グローバルな視点からに物事を考え、発表、討論や記述の能力を養う。全体の1/3程度を、キャリア教育に充てる。 は:パワーポイントの使用法 多目的教室 は:オムニバス形式、調査レポート、講演・発表と討論、感想やまとめの記述。					
学生が準備するもの:ファイル(配布プリント整理用) 評価方法:課題発表・質疑応答90%(C-2)、課題レポート10%(E-1)により評価して、それそ60%以上かつ総合評価で60点以上を獲得し、かつ総合試験に合格することをもって合格とする。自己学習の指針:スピーチや発表の機会が多いので、事前準備を十分に行うとともにプレゼンテーシュケーション能力の向上に日頃から努めること。また、ディベートでは調査やチーム内での打ち合わっておくこと。また、総合試験合格のために十分な自己学習を行うこと。オフィスアワー:火曜,木曜の16:00~17:00								
		60%以 自己学習 二ケーシ っておく オフィス	上かつ総合評価で 6 0 点以上を獲得し の指針:スピーチや発表の機会が多い ョン能力の向上に日頃から努めること こと。また、総合試験合格のために十 アワー:火曜,木曜の16:00~17:00	、かつ総合試験に合格 ので、事前準備を十分 。また、ディベートで	§することをもっ うに行うとともい では調査やチール	って合格とする。		
		60%以 自己学習 ニケーシ っておく オフィス <u>多上の区分</u>	上かつ総合評価で60点以上を獲得しの指針:スピーチや発表の機会が多いョン能力の向上に日頃から努めることっと。また、総合試験合格のために十アワー:火曜,木曜の16:00~17:00	、かつ総合試験に合析 ので、事前準備を十5 。また、ディベートで 分な自己学習を行うこ	§することをもっ うに行うとともい では調査やチール	って合格とする。 ニプレゼンテーション能力やコミュ ム内での打ち合わせを事前に十分行		
	属性・履作 ティブラーニ	60%以 自己学習 ニケーシ っておく オフィス <u>多上の区分</u>	上かつ総合評価で 6 0 点以上を獲得し の指針:スピーチや発表の機会が多い ョン能力の向上に日頃から努めること こと。また、総合試験合格のために十 アワー:火曜,木曜の16:00~17:00	、かつ総合試験に合格 ので、事前準備を十分 。また、ディベートで	§することをもっ うに行うとともい では調査やチール	って合格とする。		
	ティブラーニ	60%以 自己学習 ニケーシ っておく オフィス <u>多上の区分</u>	上かつ総合評価で60点以上を獲得しの指針:スピーチや発表の機会が多いョン能力の向上に日頃から努めることっと。また、総合試験合格のために十アワー:火曜,木曜の16:00~17:00	、かつ総合試験に合析 ので、事前準備を十5 。また、ディベートで 分な自己学習を行うこ	§することをもっ うに行うとともい では調査やチール	って合格とする。 ニプレゼンテーション能力やコミュ ム内での打ち合わせを事前に十分行		
	ティブラーニ	60%以 自己学学 ニケーシく オフィス 修上の区分	上かつ総合評価で60点以上を獲得しの指針:スピーチや発表の機会が多いの当か能力の向上に日頃から努めることこと。また、総合試験合格のために十アワー:火曜,木曜の16:00~17:00	、かつ総合試験に合格ので、事前準備を十分。また、ディベートで分な自己学習を行うこかな自己学習を行うことを関する。 遠隔授業対応	各することをもっ けに行うとともに では調査やチー <i>』</i> こと。	って合格とする。 こプレゼンテーション能力やコミュ ム内での打ち合わせを事前に十分行 □ 実務経験のある教員による授		
	ティブラーニ	60%以自己学習 ニケーシーステンドス	上かつ総合評価で60点以上を獲得しの指針:スピーチや発表の機会が多いョン能力の向上に日頃から努めることこと。また、総合試験合格のために十アワー:火曜,木曜の16:00~17:00 ICT 利用 授業内容	、かつ総合試験に合格ので、事前準備を十分。また、ディベートで分な自己学習を行うこ	ろすることをもっかい では調査やチーク こと。	って合格とする。 ニプレゼンテーション能力やコミュ 内での打ち合わせを事前に十分行		
	ティブラーニ	6 0 %以 自己学習 ニケーシ オフィス 彦上の区分 ニング	上かつ総合評価で60点以上を獲得しの指針:スピーチや発表の機会が多いョン能力の向上に日頃から努めることこと。また、総合試験合格のために十アワー:火曜,木曜の16:00~17:00 ☐ ICT 利用 授業内容 専攻科ガイダンス、JABEE説明会	、かつ総合試験に合格ので、事前準備を十分。また、ディベートで、分な自己学習を行うでは、 遠隔授業対応 週。 専.	ろすることをもっからに けいでは では いでは いでは いで いで いで いで いで いで いで いで いで いで いで いで いで	って合格とする。 ニブレゼンテーション能力やコミュ 山内での打ち合わせを事前に十分行 実務経験のある教員による授業 の内容を理解できる。		
アク .	ティブラーニ	6 0 %以 自己学習 ニケーシく オフィス 修上の区分 ニング 週 1週 2週	上かつ総合評価で60点以上を獲得しの指針:スピーチや発表の機会が多いの指針:スピーチや発表の機会が多いまった。総合試験合格のために十アワー:火曜,木曜の16:00~17:00□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	、かつ総合試験に合格ので、事前準備を十分。また、ディベートで、また、ディベートでの分な自己学習を行うでは、 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	ろすることをもった。 かに行うとともにでは調査やチークでと。 ごとの到達目標 な科ガイダンス えられた課題に	って合格とする。 ニブレゼンテーション能力やコミュ 公内での打ち合わせを事前に十分行 実務経験のある教員による授めの内容を理解できる。 対する作文が書ける。		
	ティブラーニ	6 0 %以 自己学習 ニケーシ オフィス 彦上の区分 ニング	上かつ総合評価で60点以上を獲得しの指針:スピーチや発表の機会が多いの指針:スピーチや発表の機会が多いコン能力の向上に日頃から努めること。また、総合試験合格のために十アワー:火曜,木曜の16:00~17:00 「ICT 利用 授業内容 専攻科ガイダンス、JABEE説明会特例適用に関する説明会 プレゼンテーション要領、作文	、かつ総合試験に合格ので、事前準備を十分。 ので、事前準備を十分。 また、ディベートラン 分な自己学習を行うこ □ 遠隔授業対応 □	ろすることをもっからに けいでは では いでは いでは いで いで いで いで いで いで いで いで いで いで いで いで いで	って合格とする。 ニブレゼンテーション能力やコミュ 公内での打ち合わせを事前に十分行 実務経験のある教員による授めの内容を理解できる。 対する作文が書ける。		
アク .	ティブラーニ	60%以 自己学習 ニケーシく オフィス 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	上かつ総合評価で60点以上を獲得しの指針:スピーチや発表の機会が多いっちが表力の向上に日頃から努めることと。また、総合試験合格のために十アワー:火曜,木曜の16:00~17:00 「ICT 利用 「授業内容 専攻科ガイダンス、JABEE説明会特例適用に関する説明会プレゼンテーション要領、作文3分間スピーチを聴講することでプレ能力を育成する。	、かつ総合試験に合格ので、事前準備を十分。 ので、事前準備を十分。 また、ご学習を行うで ・	ろすることをもった。 かに行うとともにでは調査やチークでと。 ごとの到達目標 な科ガイダンス えられた課題に	の て 合格とする。 こプレゼンテーション能力やコミュム内での打ち合わせを事前に十分行 □ 実務経験のある教員による授業 の内容を理解できる。 対する作文が書ける。		
アク .	ティブラーニ	60%以 自己学習 ニケーシく オフィス 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	上かつ総合評価で60点以上を獲得しの指針:スピーチや発表の機会が多いっちが見からに日頃から努めることをまた、総合試験合格のために十アワー:火曜、木曜の16:00~17:00 □ ICT 利用 □ ICT NAME □ ICT	、かつ総合試験に合格ので、事が可能を十分。ので、事がでもでもできた。 ので、事ができた。 分な自己学習を行うできまた。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ はいますができます。	をすることをもった。 かに行うとともにでは調査やチークでは、 では利ガイダンスである。 えられた課題にでいる。 表を聞いて評価でいる。	の て合格とする。 こプレゼンテーション能力やコミュム内での打ち合わせを事前に十分行 □ 実務経験のある教員による授 の内容を理解できる。 対する作文が書ける。		
アク .	ティブラー:	60%以 自己ゲーシスス タ上の区分 ニング 多上の 多上の 3週 4週 4週	上かつ総合評価で60点以上を獲得しの指針:スピーチや発表の機会が多いっちが入り、	、かつ総合試験に合格が、事がつ総合試験に合格が、事が単備を十分で、事が単位を十分で、また、こ学習を行うでは、また自己学習を行うでは、また自己学習を行うでは、また自己学習を行うできません。また自己学習を行うできません。または、またでは、または、または、または、または、または、または、または、または、または、また	をすることをもった。 かに行うとともにでは調査やチークでは、 では利ガイダンスである。 えられた課題にでいる。 表を聞いて評価でいる。	って合格とする。 ごプレゼンテーション能力やコミュ ム内での打ち合わせを事前に十分行 □ 実務経験のある教員による授 の内容を理解できる。 対する作文が書ける。 できる。 できる。 対する適切な議論ができる。		
受業計1	ティブラー:	6 0 %以 自己学 フィファイン 修上の 修上の 多上の 多上の 3 週 4 週 5 週	上かつ総合評価で60点以上を獲得しの指針:スピーチや発表の機会が多いっちにかの向上に日頃から努めることをまた、総合試験合格のために十アワー:火曜,木曜の16:00~17:00 「ICT 利用 「ICT 利用 「関業内容 専攻科ガイダンス、JABEE説明会特例適用に関する説明会プレゼンテーション要領、作文3分間スピーチを聴講することでプレ能力を育成する。学生にディベートを実行してもらうこーション能力を育成する。校長先生に特別講話をしていただきが力や心構えを説いてもらう。学生相談室に講演をしていただき、専学習をサポートする。	、かつ総合試験に合格が、事がつ総合試験に合格が、事がで、事がは ので、事がは ので、事がは ので、事がと ので、事がと かな自己学習を行うで 遠隔授業対応 は は で で で で で で で で で で で で で で で で で	をすることをもたい。 さいでは調査やチークでは、 では調査やチークでは、 では調査でチークでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。		
授業計	ティブラー:	6 0 %以留 自己ケーボスス 多上の区分 ニング 多上の区 多上の区 多 1週 2週 3週 4週 6週	上かつ総合評価で60点以上を獲得しの指針:スピーチや発表の機会が多いっちにカスピーチや発表の機会が多いとこと。また、総合試験合格のために十アワー:火曜,木曜の16:00~17:00 「ICT 利用 「ICT 利用 「関業内容 事攻科ガイダンス、JABEE説明会 特例適用に関する説明会 サ州道とでは、大変である。 特別のでは、大変である。できましていたできが、大変を表していただきが、大変である。 「対していただきが、大変である。を表生に特別講話をしていただきが、大変である。 「大きないが、大変である。を表していただきが、大変である。 「大きないが、大変である。「大きないが、自然である。」 「大変である。「大きないが、といいただきが、「大変である。」 「大変である。」 「大変である。「大変である。」 「大変である。「大きないが、自然である。」 特別研究の目的説明を行い、自分のいた。「大変である。」 特別研究の目の説明を行い、自分のいた。「大変である。」 「大変である。」 「大変である。「大変である。」 「大変である。」 「大変である。」 「大変である。」 「大変である。」 「大変である。」 「大変である。「大変である。」 「大変である。」 「大変である。「大変である。」 「大変である。」 「大変できないる。」 「大変である。」 「大変できないる。」 「大変できないるないる。」 「大変できないる。」 「大変できないる。」 「大変できないるないる。」 「大変できないる。」 「大変できないるないないる。」 「大変できないる。」 「大変できないるないないる。」 「大変できないる。」 「大変できないる	、かつ総合試験に合格が、事がで、事がで、事がで、事がで、事がで、事がで、事がで、また日本ででは、一つでは、一つで、また日本では、一つでは、一つで、事がで、事がで、事がで、事がで、事がで、事がで、事がで、事がで、事がで、事が	Sすることをもった。 さらうことともにできた。 ごとの到達目標 文科ガイダンス えられた課題に 表を聞いて評価 東の内容を理解 えられた課題に 東の内容を理解	できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。		
授業計	ティブラー:	6 0 %以留シシスス (ターナー・アング) と 上の 区分 に は は は は は は は は は は は は は は は は は は	上かつ総合評価で60点以上を獲得しの指針:スピーチや発表の機会が多いっちに一チや発表の機会が多い当いにの情からないとにも関からないという。また、総合試験合格のために十アワー:火曜,木曜の16:00~17:00	、かつ総合試験に合格が、事がし、対している。また自己学習を行うことで、また自己学習を行うことで、対している。また自己学習を行うことで、対している。また自己学習を行うで、また自己学習を行うで、一切では、対している。また自己学習を行うで、対している。または、は、対している。または、は、対している。または、は、対している。または、は、対している。または、は、対している。または、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	ますることをもった。 ますることともに さいでは調査やチーク ごとの到達目標 な科ガイダンス えられた課題に 大きを聞いて評価 実の内容を理解 えられた課題に 東の内容を理解 まの内容が理解 別研究の研究目	できる。		
受業計	声ィブラー: 画	6 0 %以留シシスス (ターナー・アング) と 上の 区分 に は は は は は は は は は は は は は は は は は は	上かつ総合評価で60点以上を獲得しの指針:スピーチや発表の機会が多いとうというでは、大学では、大学では、大学では、大学性のでは、大学とは、大学では、大学とは、大学とは、大学とは、大学とは、大学とは、大学とは、大学とは、大学と	、かつ、高いでは、かった。 かので、また。 ので、また。 ので、また。 一 遠隔授業対応 一 遠隔授業対応 一 遠隔授業対応 一 遠隔授業対応 一 で で プレゼンテーション まとで プレゼンテーション は、で、後ので、内で、内で、内で、内で、内で、内で、内で、内で、内で、内で、内で、の、内で、の、内で、の、内で、の、の、の、の	ますることをもった。 ますることともに さいでは調査やチーク ごとの到達目標 な科ガイダンス えられた課題に 大きを聞いて評価 実の内容を理解 えられた課題に 東の内容を理解 まの内容が理解 別研究の研究目	でできる。 できる。 の内容方法等が説明できる。 め・研究方法等が説明できる。		
	ティブラー:	6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	上かつ総合評価で60点以上を獲得しの指針:スピーチや発表の機会が多いと対象のに一手で発表の機会るることを表した。との指数を含めために十アワー:火曜,木曜の16:00~17:00 世界のでは、大塚では、大塚では、大塚では、大塚では、大塚では、大塚では、大塚では、大塚	、かでまた自己学習を行うである。分かでまた自己学習を行うできた。 はいまた自己学習を行うできた。 はいまた自己学習を行うできた。 はいまた自己学習を行うできた。 はいまた自己学習を行うできた。 はいまた自己学習を行うできた。 はいまた自己学習を行うできた。 はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた はいまた	Sすることともに さいでは。 ごとの到達目標 な科ガイダンス えられた課題に 表を聞いて課題に 表を聞いて課題に 表の内容を理解 えられた 課題に 東の内容が理解 同研究の研究目 引研究の研究目	できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 がする適切な議論ができる。 がする適切な議論ができる。 できる。 がする適切な議論ができる。 できる。 できる。		

			3週	下級生の特別研究目的説明を拝聴し、プレゼンのやり 方を学ぶとともに幅広い研究に関する素養を養う (1)			講演の内容が理解できる。				
		14週		下級生の特別研究目的説明を拝聴し、プレゼンのやり 方を学ぶとともに幅広い研究に関する素養を養う (1)			講演の内容が理解できる。				
			5週 ·	特別研究の中間発表を行い、自分の研究の内容の確認 と問題点の洗い出しを行う。また、同級生の研究内容 を聞き、幅広い研究に関する素養を養う(1)			特別研究の背景, 課題等および途中経過が適切に説明できる。				
			5週								
評価割合											
				発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計		
総合評価割合		0		0	100	0	0	0	100		
基礎的能力		0		0	0	0	0	0	0		
専門的能力		0		0	100	0	0	0	100		
分野横断的能力		0		0	0	0	0	0	0		